

## <タッピングタッチの講座や体験会における感染予防について Ver. 20200903>

厚生労働省による、新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒や咳エチケットの励行などが大切とされています。

下記は、タッピングタッチの講座や体験会などをおこなう時の感染対策リストです。企画するときの参考に、または講座や研修の依頼先との打ち合わせなどに役立ててください。

### <会場の設定>

- ① 換気のよい、できるだけ空間の広い部屋を使う
- ② 密集回避のため、部屋の大きさを配慮して、参加人数を制限する
- ③ 会場の入り口には、手指消毒用アルコールを設置する
- ④ 椅子は適度に離して設置する
- ⑤ 密閉回避のため、定期的な換気をおこなう

### <入場前に>

- ① 担当者による、マスクと症状の有無などの確認（可能であれば体温測定も）
- ② 手指消毒用アルコールによる消毒の徹底
- ③ できればチェックリスト用紙を用意して、参加者に記入してもらう

### <飛沫感染と接触感染の予防対策>

- 飛沫感染予防は、基本的に、マスクの着用と対面での会話を控えることでおこなう。タッピングタッチの基本型の実践においては、体験中の会話を最小限に控える、対面での会話（シェアリングなど）を控える、によって感染予防をおこなう。
- 接触感染予防は、基本的に、消毒用アルコールによる指手消毒でおこなう。軽めのタオルを参加者に持参してもらい、基本型などをおこなう時に利用する（フォト参照）。タオルがない場合は、腕や首などの皮膚を触れないようにしておこなう。（使い捨てのプラスチック手袋、または綿手袋を利用することも可能）



- 基本型の体験が終わった時点で、参加者には再び、消毒用アルコールによる指手消毒をしてもらうことにより安心感が高まる。
- インストラクターは、体験学習をおこなうとき、上記の予防策が確実にとられているように注意する。ガイドや手直しの時、相手の肌に直接触れないようにする。常にマスクをつけて飛沫感染を防ぐ（フェースシールドの利用も可能）。
- タッピングタッチ体験の感想とシェアリングは大切なので、体験後用紙などに書き込んでもらう時間を設け、全体に座りなおしてからシェアしてもらうと良い。（アセスメント用紙を使う場合、記入欄を活用する）